

ロヒンギヤ難民キャンプ

AMDAが医師派遣

ミャンマーのイスラム教徒少数民族ロヒンギヤの迫害問題で、大勢のロヒンギヤが難民として隣国バングラデシュに流入している

として、国際医療ボランティアAMDA（岡山市）は11日、難民キャンプでの医療支援に向け、医師の米田哲さん（39）＝北九州市＝を派

遣した。

米田さんは関西国際空港から13日以降に難民キャンプに入り、23日に帰国する予定。出発前のJR岡山駅で「できる限りの支援をしたい。治療だけでなく、感染症予防も

しっかり行う」と話した。

AMDAによると、ロヒンギヤの難民は64万人。現地は人が密集して不衛生なため、皮膚疾患や性感染症が増加しているという。

（水嶋佑香）